

②特殊な心電図波形のACS

①De Winter T wave

①心電図波形

①前胸部誘導（V1～6）において

J点で1 mm以上のUP-sloping型ST低下かつ、
その後に対称性の高い陽性T波を伴うもの。

②aVR誘導で、ミラーイメージの1 mm以上のST上昇を示す。
（ⅢでもミラーイメージのST低下をみることもある。）

②臨床的意義

①この心電図波形は超急性期のLAD近位部の完全閉塞を示唆する。

②ということはBroad anterior MIが考えられ、今心不全のサインが無くとも、
必ず重症心不全を来たして来ると考え、カテチームに紹介する必要がある。

③胸痛の発症から平均1.5時間でみられる、AMI早期の心電図変化である。
発症1時間で認めることもある。

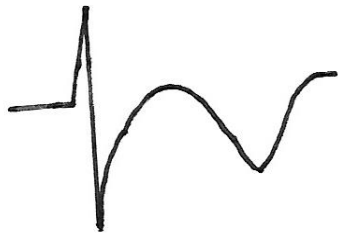
④前壁梗塞の2%に認められる。

②Wellen's症候群

① 心電図波形

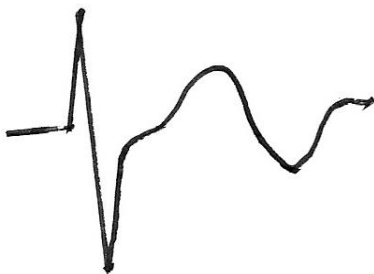
V₂~₃で特徴的なT波を示す。(陰性T波、二相性T波)
ただしQ波なし、ST上昇なし。(あっても1mmまで)

V₂~₃



typeB
deep inverted T 75%

V₂~₃



typeA
biphasic T 25%

② 臨床的意義

これらの心電図波形はLAD近位部の高度な狭窄を示唆し、
前壁心筋梗塞に進展するリスクが大きい。